

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 302 回 研究会

日 時 平成 28 年 6 月 15 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 40 分

場 所 奈良中央信用金庫 3 階 研修室

内 容 外部講師セミナー

講師 株式会社ひのうえ (ひのうえ鍼灸整骨院)

代表取締役/総院長 樋上 量一 氏

テーマ 「鍼灸整骨治療と経営について」

今回は、今年度の第 2 回若手会員主宰の例会として、上田氏と酒井氏両氏の企画により、鍼灸整骨院経営の樋上氏をお招きし、セミナーを開催いたしました。

最初に自己紹介があり、自身の資格、経歴について、お話がありました。また、鍼灸整骨院と似た業種がたくさんあり、接骨院、整体院、カイロプラスティック、もみほぐし、あんま師等の違いについて説明をされました。

鍼灸の「鍼」は、針で治療することです。使用する針は 0.2mm 程度の極細で、鍼管を用いて、軽く指で押すだけなので、ほとんど痛みはないということです。また、「灸」についても、現在は、直接皮膚に「もぐさ」を置くのではなく、せんねん灸タイプのお灸を使用するため、ほど良い熱さとなります。お灸は、湿度の高い日本に合った治療法だそうです。

次に鍼灸治療の基本となるツボについて、お話がありました。多くの人が日常経験する症状に対して、具体的に、どのツボをケアしたり刺激したりすれば効果があるか解説をされました。乗り物酔いには、手の内関・合谷、足の築賓・豊隆・足三里、二日酔いには、みぞおち付近の期門、首の後ろの天柱、背中の肝兪が効果的。足がだるい、疲れやすい症状には、足のツボの解溪・足三里・承山、背中にある腎兪・志室が有効。忘れやすい・集中力がない時は、手のひらの労宮、手首の鬼門、足の三陰交、足裏の湧泉、背中にある神道・心兪、頭のとっぺんにある百会が効く。足の筋肉がつる・こむら返りには、足三里・三陰交・湧泉・承山・委中・殷門が良い。また、スポーツドリンクを薄めて飲むのも、効果があるとの説明が加えられた。不眠症には、足の太衝・三陰交・湧泉・失眠、肋骨付近の鳩尾、おへその下の関元、首の後ろの天柱、背中の腎兪が症状を緩和する。また、冷え性には、湧泉・太溪・三陰交、おへその両横の天枢、おへその上の中脘、仙骨の窪み八髎穴と側にある胞盲、腎兪とその外側の志室が効果がある。便秘

の改善には、原因により、足の照海・足三里、おへその両脇の天枢、背中の大腸俞・脾俞、手の神門・支溝が効く、気を補い、水分調整と腸の失調の回復を促す。高血圧症には、足の裏の名灸穴、足三里、背中の腎俞・蕨陰俞、肩にある肩井など効果がある。特に、名灸穴は特攻ツボ。以上九つの症状について、図解を使い、また、酒井氏がモデルとなり、分かり易く解説された。ここで、質疑応答が行われ、たくさんの質問があったが、樋上先生の適切な説明により、より理解が深まった。

最後に、経営についての話があった。現在、田原本町、橿原市、天理市において鍼灸整骨院を3店舗経営されている。自社の強み、弱み等分析された結果をもとに、今後の経営方針、店舗展開について話をされた。

